ボーリング柱状図

調　査　名　加茂油木線道路改良事業に伴う業務委託(道路詳細設計)

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	3	7	3	9	0	0	0	2

シートNo.

ボーリング名	NO.2	調査位置	広島県福山市山野町大字山野　STA.NO.11+13.0 L3.5	北緯	34° 39' 45.9800"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成27年12月15日～平成27年12月18日	東経	133° 22' 55.0500"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	DL 119.72m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0 北 0° 270 西 90 東 180 南	地盤勾配	10° 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	YBM-05D	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマーNF30C	ポンプ	YBM GP-3

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1				礫質土	茶褐						細粒分のやや多い礫質土で礫径10～20mmの細礫が主体。 2.75m付近まで小木根多く含みやや腐食質。2.75mに径40～50mmの木根混入。 3.45m以深は礫径20～30mmの頁岩の角礫主体だが小植物片(木根)を混じえる。 4mの標準貫入試験試料より、4.3mで頁岩の風化帯に着岩。
2											
3											
4	115.42	4.30			褐灰						
5	114.62	5.10		頁岩	暗灰	E C B D C B C B	VII V III V IV III IV III	c	γ	1	4.45～4.7mは無水堀りにより、コアは礫混じり粘土状。4.7m以深は頁岩、細粒砂岩の未風化部からなり、割れ目間隔5～15cmで長さ5cm以下の短棒状コアが主体。 コアは新鮮・堅硬で、褐色汚染はほとんどみられない。全般に40～60°の片理面が発達している。 5.45mの約60°の割れ目は褐色をなし、細い木根を挟在する。石英脈が片理面に沿って幅数mm以下でみられる。
6	114.27	5.45		細粒砂岩							
7				頁岩				b	β		
8	111.72	8.00									
9											
10											
11											
12											
13											

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

岩級区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数/貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験
CL	12/17 4.96	1.15	8/30			
CM		1.45				
CL		2.15	4/30			
CM		2.45				
		3.15	16/30			
		3.45				
		4.15	31/30			
		4.45	50/2			
		5.00				
		5.02				

掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
12/15	3225	66/ケーシング	シンクル/メタル	0.4	120	0.0	無水/0.0	0.0
12/16 12/17	3700	66	ダブルコアチューブ/ダイヤ	0.6	180	0.1	清水/20.0	10.0

株式会社ヒロコン